

# PET/CT検査について

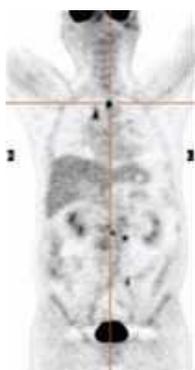
がん発見の最新機器 ~ PET/CT ~

## PET/CT検査とは？

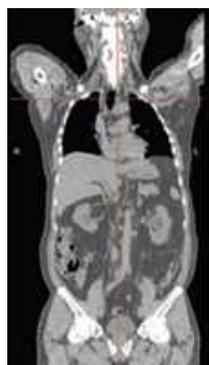
PETとはPositron Emission Tomography（陽電子放出断層撮影）の略で、がんの検査方法のひとつです。

PET検査は、がん細胞が正常細胞に比べて3～8倍のブドウ糖を消費する、という特性を利用します。腕の静脈からブドウ糖に似た薬剤（FDG）を注射した後で全身を撮影すると、FDGが多く集まる場所がわかり、がんを発見する手がかりとなります。

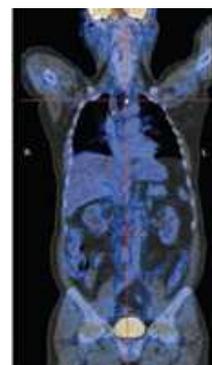
PET/CT検査は、ブドウ糖の代謝を画像化してがんを診断するPETと、臓器の形や位置などがわかるCTを同時に撮影できる最先端の装置を用いた検査で、短時間で、身体の広い範囲を対象として、より精度の高い診断画像を得ることができます。



PET画像



CT画像



PET/CT画像

## PET/CT検査 5つの「可能」



約20分の撮影時間で全身の検査が**可能**です。  
がんが早期に発見、早期治療が**可能**になります。  
悪性の腫瘍か良性の腫瘍かを見分けることが**可能**です。  
病巣の広がり、転移、再発の評価が**可能**です。  
正確な治療効果の判定が**可能**です。

## PET/CT検査の流れ



## もっと教えてPET/CTのこと

Q. PET/CT検査は誰でも受けられるのですか？

A. 基本的に誰でも受けられますが、重症の糖尿病の方は適切な画像を撮影できない可能性があります。

Q. PET/CTはどんな癌でも発見できるのですか？

A. PET/CTは癌の診断には極めて優れています。治療方針の決定にも大いに役立ちます。しかし、膀胱癌や腎臓癌等診断効果を得られない癌もあります。他の先端医療機器や従来の検査方法を使用した方が適切な診断を得られるものもあります。

Q. PET/CT検査は食事の制限をしたり、痛みが伴うことがあるのですか？

A. PET/CTの特徴として受診する方の負担が少ないことがあげられます。検査6時間前までに食事は済ませていただきます。くすりを注射するのに少しの痛みを訴える方もいらっしゃいますが、その後は安静にリラックスしているだけで検査は終了します。

Q. PET/CT検査の1回の被ばく線量はどのくらいですか？

A. PET/CT検査による被ばくは4～10 mSv程度で、胃のバリウム検査と同レベルです。200mSv以上の放射線を全身に一度に受けない限り、身体への何らかの影響は現れないとされていますので、この程度の被ばくではほとんど心配ないといえるでしょう。

Q. 費用はどれくらいかかるのでしょうか？

A. PET/CT検査は一定の要件を満たした場合に健康保険が適用されますが、連携医療機関からの紹介により、検診でPET/CT検査をご受診になる場合は、自由診療となり、料金は9万8千円(税込)となります。